

YOUR PASSION STARTS HERE, ON CAMPUS.

キャンパスではじめよう、夢中になれるコト。

国立大学法人等職員 技術職員 仕事ガイド

歴史と伝統を継承しながら、 最先端のキャンパスを創造する



国安成哉

北海道大学
施設部 施設企画課 施設企画担当
平成31年4月入職



自然豊かな空間が好きで、
休日にキャンパスを散歩することもあります。



昼食は、学食や学内のコンビニを利用することが多いです。
附属図書館も近く、快適な環境です。

最先端の教育研究を支える スペシャリスト



矢崎大介

北海道大学
大学院工学研究院 工学系技術センター
令和4年4月入職

Q1 現在の仕事と仕事をするうえで心がけていることがあれば教えてください

現在は建物の企画立案を中心に担当しています。施設系技術職員の仕事としては、企画立案に加えて、設計・現場監理、保全と3つに分けられるのですが、これらの業務を経験してきた中で感じることは、プロジェクトの最初の進め方を間違えると、その先の仕事も円滑に進められないということです。そのため、日々の業務から得られる学びを大切にしています。

Q2 やりがいについて教えてください

学生・教職員が使用する建物を作り、守る仕事を通じて、学びと成長の場を支えることの責任を感じています。公共施設でありつつも利用者との距離が近く、学生・教職員の教育・研究活動に直接影響を与えている実感があることが、やりがいだと思っています。



Q1 どのような仕事をしていますか？

研究に使用する分析装置の保守・管理をはじめ、装置を利用する教職員や学生への支援、分析に関する相談対応などを主に行っています。また、サンプルを預かって測定や解析を行う委託分析業務も担当しています。



Q2 大学で働きたいと思ったきっかけは？

学生時代に研究活動を経験する中で、研究は教員だけでなく、装置の管理や測定、分析などを担う技術職員によって支えられていることを知りました。教員とは異なる立場から、専門知識や技術を活かして研究を支えたいと思ったことが入職の決め手です。勤務地や給与が比較的安定しており、将来を見据えた人生設計が立てやすいという点も後押しとなりました。

Q3 大学ならではの特色を感じることはありますか？

企画立案から設計、工事、維持管理等の業務に携わり、建物と一緒に年齢を重ねることになります。過去に自分が設計した建物の維持管理の担当になると、設計時とは視点が変わり、当時は気づかなかった良さや課題を実感することもあります。長く建物と向き合うことができるのは、大学ならではの良さだと思います。

Q4 どういう人に向いている職業だと思いますか？

プロジェクトを進めるにあたっては、先生や学生、上司や同僚、取引先など、様々な立場の人と調整しながら、業務を進める必要があります。多くの関係者の意見を聞き取り、整理し、最適な形にまとめていくことが求められるため、コミュニケーションを取りながら仕事を進めたい人に向いている職業だと思います。入職前は、黙々と作業をしているイメージでしたが、実際は、日々のコミュニケーションが活発で、多様な意見を吸収しながら成長できる環境です。

Q3 実際に働いてみて感じた魅力などはありますか？

学生時代の専攻と近い分野に配属されたこともあり、自身の知識・経験を研究支援という形で直接活かして仕事に取り組んでいます。同僚や先輩は優しく穏やかな方が多く、技術的な相談もしやすい職場です。日々の業務に加えて、自己研鑽を兼ねて新たな事象の発見や新しい技術の開発に取り組んでおり、その成果を対外的に発表する機会がある点も教育研究系技術職員ならではのやりがいだと思います。幅広い分野の研究者や学生と関わりながら、技術者として成長していきたいと思っています。

Q4 ご自身の知識や技術はどのように高めていますか？

英語学習支援や放送大学の講義をはじめ、さまざまな研修制度が整っています。また、豊富な書籍や論文へのアクセスが可能で、自己研鑽に必要な物品や書籍についても、購入することができます。スキルアップへの意欲が高い人に対する支援体制が厚く整っており、学び続けられる環境だと感じています。

Q5 休みの日の過ごし方は？

温泉や銭湯に行くことが多いです。お風呂に入っているときは何も考えずに、無心になることで、リラックスしています。休暇が取りやすい職場なので、平日が休みの友人と遊びに行くことも多いです。



Q6 施設系技術職員を志望する方へ

キャンパスには、大学の教育研究に使われる施設だけでなく、歴史的建造物もあります。これらの建物を未来へつないでいくことは、大学に貢献するだけでなく、地域住民や社会全体に貢献することでもあります。建物が好きであることや、人のために何かをしたい気持ちがあれば、楽しく働けると思います。

Q5 仕事とプライベートの両立はしやすいですか？

職場の雰囲気や業務内容の面から、有給休暇はとても取りやすく、計画的に消化している職員も多いです。旅行や私用、リフレッシュのためなど、用途も様々です。残業は少なく、業務の見通しが立てやすいので、終業後の時間を有効に使えています。



Q6 どういう人に向いている職業だと思いますか？

研究や実験が好きで、人を支えることにやりがいを感じられる人に向いている職業だと思います。技術職員として働くことで、大学は研究や教育だけでなく、それを支える多くの技術や人の連携によって成り立っていることを実感しました。学生時代とは違った視点で大学を見ることができると、この仕事の面白さだと思います。

一日のスケジュール例

- 8:30 出勤
- 10:00 設計定例会議(設計事務所と新しく建てる建物の詳細を検討)
- 11:00 部内打合せ(定例会議を踏まえて、今後の方向性を整理)
- 11:30 事務作業(文部科学省等からの調査)
- 12:15 昼食
- 13:10 打合せ(どういった工事をしてほしいか要望を伺う)
- 14:00 資料作成・協議事項回答
- 16:30 翌日に処理したい仕事の整理
- 17:00 退勤



Q7 教育研究系技術職員を志望する方へ

大学職員は、研究や教育を身近で支えることができる仕事です。教育研究系技術職員として、専門性を活かしながら多くの研究者や学生と関わる中で、自身も成長していくことができます。新しいことに挑戦したい方、学び続けたい方にぜひ目を向けてほしい職業です。



国立大学法人とは…

国が財政的に責任を持ちながら、自主・自立という大学の特性を活かした運営が可能となるよう配慮された独自の制度により設置された法人です。事務職員・技術職員の採用にあたっては、国立高等専と連携して「国立大学法人等職員統一採用試験」を実施しています。

技術職員の仕事

機関によって、様々な業務がありますが、11の区分に大別されます。

- 電気
- 機械
- 土木
- 建築
- 化学
- 物理
- 電子・情報
- 資源工学
- 農学
- 林学
- 生物・生命科学

施設系 技術職員

歴史と伝統を継承しながら、最先端のキャンパスを創造する

- 施設整備・調査
 - 設計施工監理
 - 維持管理
- 関連資格
・ 建築士
・ 技術士
・ 電気主任技術者
・ 建築設備士
・ エネルギー管理士
・ 施工管理技士など

施設系技術職員とは
国立大学法人等において、施設整備計画の立案から設計・工事監理・維持管理・改修工事などを担当する技術者です。
国立大学法人等には、文化財から最先端の教育研究施設まで多様な施設があります。施設系技術職員は、総合的かつ長期的視点に立って、キャンパス全体をマネジメントし、良好な教育研究環境を支えています。

教育研究系 技術職員

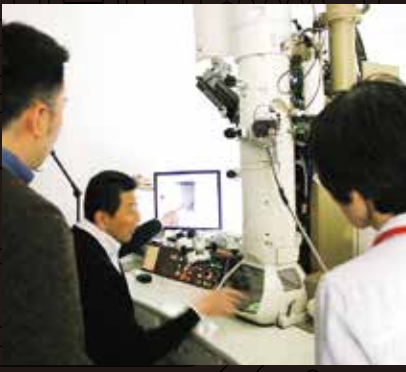
最先端の教育研究を支えるスペシャリスト

- 教育・研究の技術支援
 - 実験・実習
 - 実験データの測定・処理・分析
- 公式Webサイトから、業務内容の詳細・職員インタビューをご覧ください



ほくだい技術者図鑑

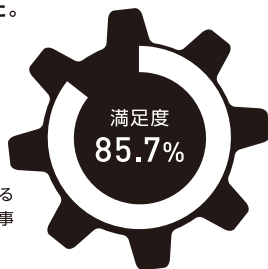
教育研究系技術職員とは
さまざまな分野の教育・研究活動を円滑に進めるため、学生・研究者の支援を行うスペシャリストです。専門的な技術に基づいて実験の準備や技術指導等を行っています。近年は、研究者とともに課題解決を担うパートナーとして、重要な人材と位置づけられており、道内機関での相互派遣や研究者との協働のほか、技術職員交流研修の実施など人材育成が強化されています。



北海道内の国立大学・国立高専で働く技術職員を対象に「働きやすさ満足度」を聞いてみました。

先輩からのメッセージ

- 大学という場でしかできない仕事がある
- やる気次第で様々な機器を利用できる
- 社会的責任を感じられる職場
- ワークライフバランスがとりやすい環境
- 裁量を持って働けるのが魅力
- 業務に携わることで自分の技術を高めることができる
- 学生がより良い環境で教育を受けるための重要な仕事
- 福利厚生がしっかりしており、働きやすい職場
- 技術を活かした授業支援ができる
- 多様な視点や価値観に触れることで、自分自身の視野が広がり、多文化理解や柔軟な思考が身に付きます。



※働きやすさについて、「とても働きやすい(19.0%)」「どちらかといえば働きやすい(66.7%)」と回答した割合 ※2025年1月調査結果

人材育成の取組

技術交流
技術職員間の技術交流や情報交換を行うことで、技術職員の技術力、資質の向上を図る機会を設けております。

職員研修
職員の能力向上のため、階層別、実務別の研修を行っております。北海道地区としての研修に加え、各機関独自の研修を開催するなど、職員の能力開発・育成に積極的に取り組んでいます。

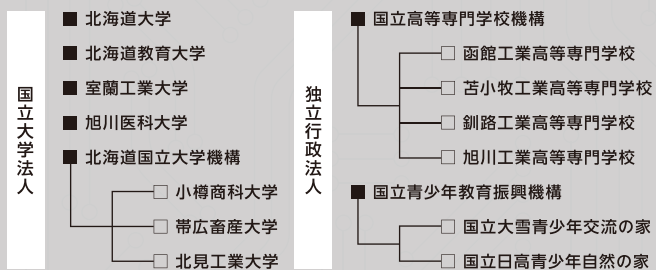
研修事例

- 新任技術職員研修
- 英語学習支援事業
- 中堅技術職員研修
- 技術職員交流研修



北海道地区国立大学法人等職員 統一採用試験実施委員会

次の機関により、構成しています。各機関の採用予定数等は、Webサイトからご覧ください。



選考スケジュール

12月	国立大学法人等グループ会員サービスに登録	
5月	第一次試験	受験申込
6月下旬	第一次試験	教養試験(出題数40題 120分)
7月下旬	第一次試験	合格発表
7月下旬~	第二次試験	(各機関で面接試験等を実施)
	第二次試験合格 (内定)	

※スケジュールの詳細は、公式Webサイトからご確認ください。
※各機関の第二次試験合格者について、翌年度4月1日の採用を予定しております。なお、既卒者の場合は、第二次試験合格後直ちに採用されることがあります。

国立大学法人等職員
統一採用試験

国立大学法人等グループ(北海道地区)
公式Webサイト
<https://univ-staff.hokkaido.jp/>

